学校番号	1205

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	(学)ペン字（応用）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	新版　応用ペン習字（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・文部科学省後援、日本書写技能検定協会主催の硬筆書写技能検定３級合格程度等を達成目標にしたにした授業内容である。
・日常生活における目的や用途に応じた表現の能力を身に着けるとともに、自主的に課題に取り組む態度を育てる。

2　学習の到達目標

・硬筆書写に関する用具（鉛筆、ペン、万年筆、油性マーカー、ボールペン）、インキ、用紙などについての知識を身に着け、理解する。
・一定時間に一定の字数の文章を誤りなく書くことができ、日常生活に必要な届、願、通知、掲示、報告など簡単な文書を定められた形式に従って正しく書くことができることに加え、漢字、平仮名、片仮名、ローマ字、アラビア数字及び符号などを正しく整えて書くことができる。
・主体的に硬筆書写の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組む姿勢を持つ。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	硬筆書写に関する用具（鉛筆、ペン、万年筆、油性マーカー、ボールペン）、インキ、用紙などについての知識を身に着け、理解している。	・一定時間に一定の字数の文章を誤りなく書くことができている。 ・日常生活に必要な届、願、通知、掲示、報告など簡単な文書を定められた形式に従って正しく書くことができている。 ・漢字、平仮名、片仮名、ローマ字、アラビア数字及び符号などを正しく整えて書くことができている。	・主体的に硬筆書写の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組む姿勢を持っている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期		1、実技問題の練習 ・漢字(楷書)の学習 ・平仮名の学習 ・片仮名の学習 ・漢字仮名交じりの書 ・縦書き、横書きを体裁よく書く 2、理論問題の練習 ・筆順、書き取り	a: 筆順、書き取りの問題についての知識を身につけている b: ・縦書き、横書きを体裁よく書いている c: 楷書の基本点画、筆順、構成等を分析的に理解している。	確認テスト 提出プリント	提出プリント	観察 提出プリント 振り返りシート
二学期		1、実技問題の練習 ・漢字仮名交じりの書 （詩文を書く） （掲示を書く） 2、理論問題の練習 ・筆順、書き取り	a: 漢字と仮名を調和させた表現を学んでいる b: 形式等、各自の創意・工夫を凝らした作品作りに取り組んでいる c: 手本を見ずに文字の結構を正しく書いている	確認テスト 提出プリント	提出プリント	観察 提出プリント 振り返りシート
三学期		1、実技問題の練習 ・過去問の練習 2、理論問題の練習 ・過去問の練習 3、筆ペンの学習 ・賞状を書く	a:筆ペンの使い方を理解している b:賞状を体裁よく書くことができる c: 手本を見ずに文字の結構を正しく書いている	確認テスト 提出プリント	提出プリント	観察 提出プリント 振り返りシート

※ 表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度